

# 生活指導だより

令和3年 6月 1日  
練馬区立開進第二中学校  
第3号



## 2021年の挑戦者たちへ



「彼」はドラフト1位ではなく4位で入団した。「彼」はさっそく二軍で首位打者を獲得したが、その独特な打法は一軍首脳陣たちに否定され続けた。「彼」は当時豪腕の名をほしいままにしていた野茂英雄投手からホームランを打った。しかし、その日に2軍に降格され、しばらく一軍に定着することはなかった…。

この「彼」、みなさん誰のことだか分かりますか。そうです。2019年に引退したイチロー選手です。皆さんが、イチロー選手のことを好きか嫌いかは別にしても、彼がすごい選手であるということは知っているでしょう。日本では7年連続首位打者となり、MLBでは262本という年間最高安打を記録、さらにオールスターゲーム初のランニングホームランを打ちMVPに輝いたこともあるスーパープレーヤーです。引退会見でも見受けられましたが、インタビューを受ける彼は、とても理論派で、その鋭い眼光と努力に裏付けられた自信満々のしゃべり口調は見るものを圧倒します。彼が発する言葉は“イチロー語録”として数々の本になり、出版もされています。

常に前向きで、冷静沈着、怖いもの知らずといったイメージが強いイチロー選手ですが、とあるインタビューの「毎年200本以上ヒットを打つことに対して重圧はありませんか？」という問いかけに「そりゃーありますよ」と素直に認め、「重圧を感じたとき、どんな状態になるんですか？」という問いかけには、「脈が非常に速くなってきますよね…。そして最後は吐き気までしてきます。もう、真っ暗ですよ、周りが…」と答えていました。

天才、しかも努力のできるイチロー選手でさえ、実は、吐き気をもよおすくらいの重圧に耐えながらプレーしているという事実には、私はかなりの衝撃を受けました。というのも私は彼が野球の本場であるアメリカに行ってベースボールを心底楽しんでやっていると思っていましたし、長年やっていれば当然ブランクの一つや二つあるわけで、そうしたブランクはブランクとして受け止め、少し肩の力を抜いてプレーをしていると思ったからです。ところが彼は真逆をいっていたわけです。凡人の私には想像もつかないほどのプレッシャーを受けながら…。

昨今は「楽しいことをやるのが一番」という考えが主流になっている感もありますが、“楽しむ”のと“楽をする”のとは違うのであって、楽ばかりを求める人生というのも、何かスポンジみたいで、日常が薄っぺらに感じられてしまうのではないのでしょうか。夢を描くのは簡単です。万人が夢を語ります。しかし、夢を実現するためにはキツイことも沢山あります。我慢しなければならないことがあるわけです。イチロー選手から私たちが学ぶべきは、重圧に敢えて身をおくことの潔さ、そしてその状況にありながらも、なお希望の光を見つけ出そうと、ひた向きに努力する姿ではないのでしょうか。

イチロー選手は最後にこう語りました。「それでも僕はその苦しみから逃げずに向かっていきたいんです。でもやっと最近野球の楽しさが、わかり始めてきましたよ」 この言葉は2021年のチャレンジャーたる君たちへのエールの言葉となるでしょう

## ◆衣替えの移行期間中です



先日プリントでお知らせしたように、5月17日（月）から6月4日（金）までの3週間は衣替えの移行期間となっています。そして、運動会明けからは、夏服の完全実施となりますので、決まりもしっかり確認しておきましょう。以下に特に留意すべき点を挙げておきます。

- ① 学校指定のベストのみ着用可。
- ② 色柄もののTシャツを肌着代わりに着用しない。
- ③ ワイシャツ・ブラウスは半袖が望ましい。長袖を着用する場合は袖のボタンをきちんと留めるか、肘まできちんと折るなどして身だしなみを整えるようにしてください。
- ④ スカートの長さは膝が隠れる長さとし、短くしないようにしてください。
- ⑤ なお、感染拡大防止の点から、当面の間、以下の場合は体育着・ジャージ登校とします。  
\*保健体育の授業がある日      \*部活動がある日      \*運動会の練習がある日

## ◆スケアードストレイト方式の自転車交通安全教室



先日5月6日。初夏を思わせるような暑さの中、練馬警察署とスタントマンの方々をお招きし、自転車交通安全教室を行いました。“スケアードストレイト方式”とは、交通事故を目の前で再現し、事故の衝撃や恐ろしさを体験させ、交通安全の意識をより高めることを目的としたもので、自転車と車の凄まじい衝突音に、生徒の皆さんもハッと息を飲み、食い入るように見ておりました。身のすくむような体験を終えた皆さんの感想をいくつか紹介します。

- ◆絵などで見たり、人から聞く何十倍も事故の怖さを実感できました。スタントマンさんの実演を見て「周りの人も巻き込んでしまう」という、とても重要なことを学びました。（1年男子）
- ◆イヤホン等をつけて自転車に乗ったり、スマホ等を見ながらなどの走行は、とても危険ということを、スタントマンさんたちの再現によりよく分かった。（1年女子）
- ◆スタントマンさんたちの事故の再現を見て痛々しかったです。私は交通ルールを確認し「ブタハシャベル」を実際に行い、加害者にも被害者にもならないように努めたいです。（2年男子）
- ◆いつも乗っている自転車にもたくさんの危険が隠されていることが分かりました。しっかり前後左右を見てよそ見をしないことが大切だと思いました。（2年女子）
- ◆今日実際に事故が起こるのを見て、これがいつ起きてもおかしくないと思うと、とても怖かったです。交通ルールを身に付け、加害者にも被害者にもなってはいけないと思いました。（3年女子）
- ◆僕は今まで事故になんて、きっとあわないと思っていたけれど、意外と簡単に事故は起きてしまうことが分かったので、これからは気を付けようと思った。また、時々自転車のチェーンが外れることがあったので、自転車の点検をしようと思った。（3年男子）

## ◆6月の月間目標 ★1日24時間は、みんなに平等に与えられている！

時間を意識し、チャイム着席を徹底しよう

～休み時間は準備時間！ チャイム前に着席！～

